

2020年8月

## VR(仮想現実)技術を活用し、商品パッケージデザイン決定プロセスや消費者調査を高度化・効率化することを目的とした「VR商品パッケージ開発支援システム」を開発



アサヒグループホールディングス(株)は、VR(仮想現実)技術を活用し、商品パッケージデザイン決定プロセスや消費者調査を高度化・効率化することを目的とした「VR商品パッケージ開発支援システム」を開発しました。「VR商品パッケージ開発支援システム」は、平面デザイン案や実際の商品を専用の

ソフトやスキャナーで読み込むことで缶やペットボトルなどの商品の3Dモデルを生成する「3Dモデル生成システム」と、生成されたデザイン案の3Dモデルを仮想商品棚で表現するための「仮想商品棚生成システム」の2つから構成されています。両システムを組み合わせることで、検討段階の商品パッケージデザイン案をコンビニエンスストアの冷蔵ショーケースなどに陳列された状態でモニターに再現することができ、お客様の目線でのように商品が見えるかを開発チームなどの複数人で共有・確認することが可能です。今後もアサヒグループは最新の技術を活用しながら様々なイノベーションを実現し、お客様の楽しい生活文化の創造に貢献していきます。

2020年8月

## ビール工場排水由来のバイオガスを活用した燃料電池発電の実証事業を開始

アサヒクオリティーアンドイノベーションズ(株)は、CO<sub>2</sub>排出量削減の新たなモデルとして、ビール工場排水由来のバイオメタンガス(以下、バイオガス)を利用した燃料電池による発電の実証事業を、アサヒビール茨城工場にて開始しました。三菱日立パワーシステムズ(株)および三井住友ファイナンス&リース(株)と協力のもと設備の準備を行い、この設備の稼働により、発電出力200kWとして年間発電量約160万kWh(一般世帯約350戸分)の電力を供給することが可能となり、年間1,000トン程度のCO<sub>2</sub>排出量削減が見込まれています。今後もアサヒグループはCO<sub>2</sub>排出量削減のための技術開発、および普及を促進させ、持続可能な地球環境の実現に貢献していきます。



アサヒビール茨城工場に導入した設備全体

